

令和元年度第2回日本一の健康長寿県構想高幡地域推進協議会 議事要旨

- 1 日 時 令和2年2月18日(火) 18:30~19:40
- 2 場 所 須崎福祉保健所 2階会議室
- 3 出席者 ・協議会委員27名のうち24名が出席 ・オブザーバー1名  
・医療政策課3名 ・事務局11名

◆出席委員(敬称略)

○専門団体

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 田村 精平 | 《高岡郡医師会理事》          |
| 菅野 聡  | 《高岡郡医師会副会長》         |
| 土居 詔人 | 《高岡歯科医師会会長》         |
| 浪上 静香 | 《高知県看護協会須崎・窪川地区支部長》 |

○保健医療福祉関係機関

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 岡村 理佐  | 《障害者支援施設》           |
| 諸隈 陽子  | 《精神科診療施設》           |
| 松岡 健夫  | 《高齢者福祉・介護施設》        |
| 安井 涉   | 《国保病院・診療所》          |
| 北川 素   | 《高齢者医療施設》           |
| 森畑 東洋一 | 《小児科診療施設》           |
| 植田 裕次  | 《高幡広域社協連絡協議会》       |
| 馬場 砂織  | 《高知県保険者協議会医療計画検討部会》 |

○地域組織団体・住民の代表

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 熊田 敬子 | 《須崎福祉保健所管内健康づくり婦人会連合会会長》 |
| 戸梶 庄美 | 《須崎地区食生活改善推進協議会会長》       |
| 岩崎 良子 | 《くぼかわボランティア連絡協議会会長》      |
| 山本 新一 | 《中土佐町民生委員児童委員協議会会長》      |

○行政関係

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 森光 澄夫  | 《須崎市健康推進課長》      |
| 吉本 加津代 | 《須崎市長寿介護課長》      |
| 井上 幸一  | 《須崎市福祉事務所長》      |
| 山本 眞紀  | 《中土佐町健康福祉課長》     |
| 明神 孝洋  | 《梶原町保健福祉支援センター長》 |
| 下元 丈夫  | 《津野町介護福祉課長》      |
| 野村 和弘  | 《四万十町健康福祉課長》     |
| 上岡 啓二  | 《須崎福祉保健所長》       |

◆欠席委員(敬称略)

- |       |            |
|-------|------------|
| 瀧口 英寛 | 《薬剤師会高陵支部》 |
| 市川 利恵 | 《障害者支援施設》  |

- 高橋 佳代乃                    《高知県介護支援専門員連絡協議会高幡ブロック長》  
◆オブザーバー（敬称略）  
朝比奈 正芳                    《高岡郡医師会事務局長》

## 議事等概要

- 1 開 会
- 2 須崎福祉保健所長挨拶
- 3 議 事

### （1）須崎福祉保健所の令和元年度重点目標に対する取組

#### 【事務局説明】

- ・須崎福祉保健所の令和元年度重点目標に対する取組について **資料1** で説明
- ・地域包括ケア推進協議会（Aブロック）の取組報告〈四万十町より〉
- ・自殺対策計画策定の取組報告〈梶原町より〉

#### 【質疑、意見等】

- ◆田村会長 《高岡郡医師会理事》  
糖尿病アドバイザー派遣事業の糖尿病アドバイザーはどのような職種の人ですか？
- ◆事務局  
糖尿病認定看護師や管理栄養士です。
- ◆田村会長  
糖尿病認定看護師は何人いますか？
- ◆事務局  
県内に6名います。
- ◆田村会長  
四万十町は誤嚥性肺炎対策に取り組んでいるということですが、口腔ケアも含めて、S T（言語聴覚士）と一緒に取り組んでいるのですか？
- ◆野村委員 《四万十町役場健康福祉課長》  
歯科衛生士など様々な職種の方と口腔ケアに取り組んでいます。
- ◆田村会長  
口腔ケアにおいては歯科衛生士の役割が大きいと思いますが、嚥下のチェックはS Tしかできません。とろみ食等を使用しないと誤嚥のリスクが高くなります。須崎くろしお病院の介護老人保健施設でもとろみ食を出しています。スタッフが何人もいる施設の場合はとろみ食にもばらつきが出るため、統一したとろみ食にするなどは大変ですが、口腔ケアをすることで誤嚥性肺炎患者が減ったというデータも出ています。
- ◆森光委員 《須崎市健康推進課長》  
受動喫煙対策の関係で、R元年7月1日から医療機関及び行政機関等は原則敷地内禁煙、

R2年4月からはその他の施設等についても原則屋内禁煙になりますが、例外規定で須崎福祉保健所に喫煙可能施設設置の届出をされた件数は現時点でどれくらいですか？

◆事務局

現時点で10件未満です。

◆森光委員

須崎市でもR元年12月の広報で「原則屋内禁煙になりますが例規適用除外される場合には手続きが必要です」ということを周知しました。その後の反応はどんな状況になっているのかを確認させていただきました。

◆田村会長

南海トラフ地震対策の部分ですが、要配慮者には自分だけでは避難できない人もいますが、そういった人がどこの地域に何人いるのかというのはマッピングしていますか？

◆事務局

須崎市の安和地区と浦ノ内地区では戸別訪問をして計画を策定していますので、自分だけで避難することが不可能な要配慮者がどの地域に何人いるのかということは分かります。

◆田村会長

最近近所付き合いも薄くなってきているので、隣の家の人やどのような人なのかわからなかったりします。浦ノ内地区などは地域の交流が残っていると思います。

◆事務局

来年度以降は個別計画の実効性を高めるために、地域の人を交えた助け合いの訓練を行う方向で検討を進めたいと考えています。

◆山本（眞）委員 《中土佐町健康福祉課長》

実効性を高めることについては中土佐町も苦慮しています。中土佐町の個別支援計画の策定状況は80%位です。計画は策定していますが、適切に避難できるのか、非常に難しいところです。来年度からは個別計画の見直しをしていこうと考えています。計画をつくり始めて6年が経ちましたので、地域の状況も変わっています。町民の方に地域の現状を理解していただくように計画を立て直そうと考えています。今までの避難訓練は「何時頃に地震が来て何時頃に津波が来ます」と広報をした後に避難をしてもらおうという形で繰り返し行ってきました。町民の方から「決められていたことをしていても本当に避難できるのか」という意見をいただきましたので、来年度は11月を目処に、平日の学校、保育園、行政も仕事をしている時間帯に地震が起こったという設定で日曜日に訓練を実施する予定です。医療救護所の体制、学校の体制、自主防災組織の体制等を失敗を覚悟で皆で確認するということを目的として、避難訓練を実施する計画を立てています。1回目の検討会が先日ありまして、今後も検討会を重ねていく予定です。

◆森畑委員 《小児科診療施設》

健やかな子どもの成長・発達への支援として高幡管内での児童発達支援センターの設置に向けた検討会を実施したということですが、どの程度の規模を想定していますか？

◆事務局

検討会は始まったばかりで、圏域で1カ所設置するという意思統一がなされたところです。

現在は、管内5市町にどれだけのニーズがあるのか、各市町の方で大まかな対象者を把握している段階です。ある程度把握した上で、具体的にどういう形態でどんな職種を配置するかということなどを検討していく予定です。

◆土居委員 《高岡郡歯科医師会会長》

あったかふれあいセンターについてですが、高齢者は孤立してしまうとフレイルにつながる恐れが出てきます。その点においてもあったかふれあいセンターの機能強化はとても重要だと思います。特に食に関する支援はとても大事になってくると思いますが、あったかふれあいセンターではどんな支援をしているか教えていただきたいです。

◆事務局

各センターによって取組は様々ですが、かみかみ百歳体操や栄養士を招きお話をしていたくなどの取組をしています。

◆土居委員

大正地区では配食サービスが始まるというようなこともお聞きしています。高齢化が進んでいますのでそういったサービスを充実させていただきたいです。自分でご飯を食べられなくなると、医療と介護両方の負担がぐっと増えることになります。自分で食べられる時期が長くなることは健康寿命を延ばすことにもつながってきます。かみかみ百歳体操もすごく良い取組と思います。

◆野村委員

かみかみ百歳体操は宅老所等の集いの場でも行っています。健康づくりでは、健康推進事業で「まずは歩きましょう」ということで取り組んでいますし、口腔ケアについてはいろいろなところで研修等も行っています。配食サービスは高齢の方、障害の方を対象に取り組んでいます。大正地区では社会福祉協議会による配食サービスがスタートしたところです。

◆戸梶委員 《須崎地区食生活改善推進協議会》

食生活改善推進協議会では、各地区で月1回、高齢者を集めて保健師が相談事を聞く機会を設け、各種団体と協力してお年寄りの方が食べたいようなお昼ご飯を作って提供しています。梶原町にはシニアカフェがあり、独居高齢者を集めて飲食しながら雑談や近況報告、百歳体操をしています。血圧測定もしています。

## (2) 健康づくり推進部会の活動報告

### 【熊田委員報告】

- ・令和元年度健康づくり推進部会活動報告 資料2 で報告
- ・令和2年度健康づくり推進部会活動計画（案）について 資料2 で報告

### 【質疑、意見等】

◆田村会長

今年度の活動内容の1つで、職場の健康づくりの応援研修会の報告がありましたが、須崎市でのヘルスメイトによる高血圧予防の取組について具体的にどういったことを行いましたか？

◆事務局

事業所の健康管理の担当の方を対象に、健康づくりに関する研修会を開催しました。今年度は高血圧予防ということで須崎市の食生活改善推進員（ヘルスマイト）の会長に高血圧予防についてお話をしていただきました。参加者には減塩の味噌汁を試食していただきました。実際に試食をすることで減塩食について理解が深まった、と好評でした。

◆熊田委員 《須崎福祉保健所管内健康づくり婦人会連合会長》

試食は味噌汁とみょうがの白和えが出ていました。

◆田村会長

高知県の平均寿命、健康寿命は全国でも下位に低迷しています。原因は様々で、男性の肥満率が高いことや運動している人が少ないこと、お酒を飲む人の割合が高いなどがあります。お酒を飲む人の割合は東京に次いで第2位です。そういった部分を変えていかないと、平均寿命や健康寿命を上位に持っていくのは難しいと思います。健康づくり推進部会につきましても、職場の健康づくり、家庭での健康づくり等に取り組んでいただきたいと思います。

### (3) その他

◆森畑委員

血管病や糖尿病は子どもの時から準備が始まっており、子どもの肥満も多いです。県によっては子どもの肥満についての健診を医療機関で無料で受けられるところがあります。教育委員会との話が必要かと思いますが、そういったことも推進していただきたいと思います。

◆熊田委員

食生活改善推進協議会では管内市町の小学校・中学校・高校の食育に携わることがあります。その中で「朝食づくりや弁当づくりでは薄味を心がけるようにしましょう」などの働きかけをしています。確かにしっかりと味がついたものは美味しいですが、小さいときから薄味に親しむことが大切だと思います。食生活改善推進協議会の活動を通じて薄味の定着を目指したいと考えています。

◆田村会長

日本の年間1人あたりの医療費は平均33万円というデータがあります。高知県は県民1人あたり44万円でトップ、1番少ない埼玉県は1人あたり29万円です。高知県は埼玉県のおよそ1.5倍です。高知県はたくさんの医療費を使いながら、健康寿命の平均は下位に低迷しており、日本一コストパフォーマンスが悪い県です。委員の皆様にはこういったことを自覚していただいて、今後も健康づくりの推進等の活動に取り組んでいただきたいと思います。

## 7 閉 会